

金正恩世襲体制と日本

『 코리아・レポート 』編集長

辺 真 一

- * 日米韓とも死去をキャッチできず
- * 健康管理しなかった金正日
- * 長男は第三国へ亡命、次男は大使？
- * 超法規的な最高指導者
- * 名実ともに軍事国家をめざすか
- * 2009年の顔ぶれが君臨
- * 2月と4月に父と祖父の生誕祝い
- * 水爆実験の可能性もある
- * 経済再建のカギを握る叔母夫妻
- * 政治決断が必要な日朝関係



浅野 それでは、開会いたします。（拍手）

去年暮れに金正日が亡くなって、すぐ辺さんにお願ひしたのですけれども、経済倶楽部講演会の日程でまだ埋まっていなかったいちばん早い日が、今日ということでお願ひしました。少し落ち着いたところなので、かえってよかったですと思います。この2ヵ月ほど、辺さんもうたいへんお忙しかったそうです。

真一 辺 おとしの11月に講演をしていただいて、講演録を読むと、とてもいい内容でした。その後の事態もほとんどそのときの予測どおり進んでいます。ただし予想はなかなか難しいとおっしゃっていますから、今日は、予想というよりは今の北朝鮮の状況、内実をしっかり伺えればと思います。ベストの講師ということで今日は楽

しみにしたいと思います。それではよろしくお願ひいたします。（拍手）

辺 今年もお招きいただきまして、ありがとうございます。私も、先ほど車の中で、一昨年11月に自分が話したことを改めて検証してみました。お褒めの言葉をいただきましたけれども、この中で間違いなかったのは金総書記が亡くなったことですね。

私、2008年8月に倒れたときに脳卒中、直接的な原因は糖尿病がそうとう深刻だということを上げたいと思います。したがって、先はそう長くはないと。だからこそ後継者の人事、すなわち09年1月に三男の正恩を後継者に決めた。すなわち金正日キムジョンイル自身ジジョンウンが自分の健康状態をほかの誰よりも知っていたのではないかと思っ

ています。それをこれから説明していきたいと思えます。

日米韓とも死去をキャッチできず

正直なところ、去年12月19日正午、北朝鮮の例の有名なアナウンサーがテレビに喪服姿で現れたときには、まさか、しかしもしや、という予感がありましたから、当日、某テレビ局に来ていました。

たまたまそのテレビ局に同時通訳がいなくて、万が一の場合に備えて、「申し訳ないけれども生番組に出てアナウンサーが読み上げる報道を通訳してくれないか」と要請されました。その内容は、金正日キムジョンイル総書記が17日午前8時30分、列車の中で逝去したというもので、スタジオが

騒然となりました。

まさか、しかし、もしやと、そういう気持ちがあれば、李明博イミョンバク大統領も野田総理も、ああいうへまは犯さなかったのではないかと思えますね。李大統領は、その二日前に日本にやってきました。もっぱら関心があるのは従軍慰安婦問題、そのための日韓首脳会談でした。ですから、北朝鮮が19日正午に発表するまでの51時間、残念なことに、日韓の両首脳が北朝鮮の最高指導者の金正日の死亡をキャッチできていなかった。アメリカも同じでした。

韓国の情報機関、つまり国家情報院ですけれども、これはこれまで韓国のメディアにゴマンと金正日絡みの情報を流してきました。ところが、金正日の死去といういちばん肝心な時に、

肝心要の情報は全くつかめなかったわけです。このことで、この筋の情報がいかにでたらめでいいかげんだったかということを変更して思い知らされましたね。

この国家情報院長、アメリカで言うところのCIA長官が韓国国会の情報委員会に呼ばれて「いつ金正日キムジョンイルが死んだことを知ったのか」と聞かれ、「テレビを見て知った」と言ったのです。それで国会議員たちもあぜんとしたというようなことでした。

李明博大統領はいろいろ突っ込まれました。「知らなかったのは私だけではない、日本国総理も知らなかった」、(笑) そういうふう言い逃れしてはいただけども、これは非常に恥ずかしいことです。

そもそも、その2時間前、すなわち午前10時の段階で特別放送があるという発表があったのです。ですから私もテレビ局に行ったのです。1994年、世襲初代キムジョンソンの金日成が死んだときに特別放送の予告がありました。

ですから今回も、当然、もしやという気持ち、構えがあれば、野田総理も、そのとき新橋かどこの街頭演説に行こうとして官邸を出て、途中であわててUターンすることもなかったでしょう。いかに情報収集能力が劣悪かということだと思います。

これが初めてならまだ許されるかもしれませんが、これは初めてではない。以前こういう事実をお話ししました。金正日総書記が2008年8月14日から忽然と北朝鮮のメディアから消

えた。それがわからなかったのですね。

ところが、9月9日に北朝鮮で建国60周年がありまして、建国60周年は父親がつくった国の還暦ですから、当然その息子の金正日が出て、まして軍事パレードがあるわけですから、最高司令官は出てくるだろうと、こう思って私も当日、テレビ局で構えていたところ、金正日が現れなかったのです。

それで何か起きたのか、何があったかと騒然となりました。結局、3週間にわたって日本、アメリカ、韓国は金正日が脳卒中で倒れていたことを知らなかった。一度ならず、二度も金正日の「最高機密」をつかめなかったわけです。

もっと古い話で恐縮ですが、1994年7月に金日成が亡くなったときも、まったく

同じでした。7月8日の午前2時に亡くなって、翌日の9日正午に北朝鮮で正式発表があった。ということは、34時間にわたって、これまた日米韓はキャッチできなかった。

いちばん新しいところでは、2009年5月25日の核実験です。その前の4月5日のテポドンミサイル発射は北朝鮮が「人工衛星を打ち上げる」と2月5日に発表がありましたので、日本もアメリカも韓国も構えることができたけれども、5月25日の核実験は、韓国で地震が探知されたことから、北朝鮮が核実験のボタンを押したことがわかる有様でした。

よく日本で有事議論が起きますけれども、私からしますと、改めて北朝鮮についての情報収集能力のお粗末さは想像を絶するといましょ

うか、逆に、日米韓はこの辺の情報収集をもっとしっかりとしないかと思えます。

健康管理しなかった金正日

何事にも予兆があります。予兆の一つは、私が2010年11月のこちらの講演で金正日総書記はそう長くはないと申し上げた裏付けです。裏付けの一つは最近話題になっている長男の正男ナムの言動です。金正日が亡くなる1年前、すなわち10年10月に日本のテレビのインタビューで正男がこういうことを口にしていました。「私は三代世襲に反対だ、しかし、内部事情があって仕方がない」と。この内部事情とは何なのかです。だいたい想像がつくのは、結局、お父さんの健康問題ですね。

このとき日本の記者から「ところで、お父さんの健康状態はどうですか」と聞かれたとき、「いや、その質問については答えられない」と答えたのです。以前にもこういう話をしたかと思えますけれども、日本で政治家の息子に聞けば、仮に脳卒中で倒れて危篤状態であっても、父親の健康問題については「元氣です、びんびんしています、今、あちらで碁を打っています」などと嘘をつくものです。

ところが金正男は非常に素直といいますが、はつきり言ったのです。答えられないということは、良くないということ。このようなこともあって、私は、金正日総書記はそう長くはないと見ていました。

もう一つ、そのことは金正日自身が余命を知

っていたのではないかと思います。常識で考えて、脳卒中で倒れたら徹底的に健康管理します。ところが、ほとんど健康管理しなかった。むしろ積極的に地方の視察活動を続けた。経済が悪いということ、主に経済活動がメインになったのです。

2009年4月6日、倒れてから初めて公の場に姿を現しました。北朝鮮の最高人民会議に金正日総書記が出てきた。そのとき足を引きずっていました。そして、テーブルにもたれかかるように立っている、げっそりやせたあの姿を見て、相当良くないな、問題は脳だけではないなど、専門家なら気づいたと思います。

それから3ヵ月後の7月8日、金日成主席死去15周年の追悼式、このときの姿が決定的でし

たね。やせたところではない。ほおがこけて、隣の15歳年上の金永南キムヨナム最高人民会議常任委員長のほうがかくしゃくとしていた。金正日総書記の姿は、私の目には、渡辺美智雄元副総理の末期の状況が一瞬ダブったぐらいで、これは思ったよりも悪いと思いました。

良くないにもかかわらず、とんでもないことをやっていた。酒とたばこを復活したのです。09年4月14日に金日成の誕生97周年の夜会がありました。夜会の場所に党・軍幹部が勢ぞろいして、それぞれ着席して花火を見学した。映像を見ると、金正日総書記の前にだけ灰皿が置いてあるのです。

彼は、01年に北朝鮮を訪問した中国の幹部にこう言っています。「たばこは健康に悪いので

禁煙した。ドクターのアドバイスだ」と。この一言をもって、北朝鮮のメディアは「喫煙は心臓を撃ち抜く銃と同じだ」という金正日の言葉を紹介した。ところが、そのたばこを復活したのです。

そして、09年1月21日に中国共産党の王家瑞中央対外連絡部長が平壤を訪問したときには、これまた倒れてまだ半年もしないのに朝鮮の度数の高い酒で乾杯をしました。それも一杯や二杯の話ではない。そうとうな深酒だったということです。

その年の8月に韓国の現代財閥の女性オーナーが行ったときには「ワインを飲み、たばこを吸っていた」と、当時のステイブンス駐韓アメリカ大使が、この人も女性ですが、報告して

います。それは去年、ウイキリークスで初めて暴露されたのです。普通なら、逆に禁煙、禁酒ですよ。たばこをやり始め、そして酒を飲み始めた、これはどういうことなのか。

またこの頃から、15年くらい表舞台に出てこなかった実妹の金敬姫キムギョヒを復活させ、その夫、張成沢チャンソンテクとともに、この二人を自分の視察にずっと随行させていた。健康状態を知らなかったのは私たちだけであって、正日自身はよくわかっていたのでしょう。

その決定的な言葉があります。これほど弱気な人間だと私はこれまで見ていなかったのですけれども、この言葉を知って、彼も人の子だとわかりました。09年9月、建国記念日の記念行事に出席した際に、党および軍幹部を集めた前

で、そのとき発した言葉です。これは北朝鮮で報道されました。

「米帝やわれわれを圧殺しようとする勢力とは、熾烈な対戦に必ず勝利し、次の世代により良い社会主義強盛大国を渡すことが首領様（故金日成主席）の思想であり、私の信念である」と言った後、注目されるのは次の言葉です。

「私は、今日死んでも、明日死んでも、首領様の戦士として私の責任を最後まで果たすつもりだ」。まるで自分の死を予感するような悲壮感が漂っている。私は、長男の正男が父親の死について「それは当然、自然の形だ」と言ったということは、一連のそういう流れがあったからと見ています。

問題の金正男は、今、話題を呼んでいます

がった息子で、長男で、それも40歳です。長男を父親がたしなめたり、とがめたりするのはなかなか難しい。

長男も、これまで悪いことは一言も言わなかった。むしろ、こうすべきだとか、ああすべきだとか、父親にいろいろなアドバイスをしました。また、父親が北朝鮮ではできない外貨獲得、あるいは最先端のIT関連の機器の調達、そういうことをしてあげている。

いちばんの役割は、父親の資産を金利の高い外国の銀行に預け、あるいは不動産を取得し、株の売買をしたり、そういうことで父親の資産運用をやってきたことです。ただ、もうこれからはそういうわけにはいかない。金正恩の周りがほっておかないでしょう。

れども、できたら金正男が後継者になってほしい、といったのが私の一貫した願望でしたが、これはもう手遅れですね。「世襲に反対だ」というような発言から始まって、まっとうな考えを持つているということがよくわかります。

長男は第三国へ亡命、次男は大使？

ほかに「北朝鮮の生活が向上しているとはとても思えない」とか「中国ですら世襲はしなかった、社会主義に合わない」とも言いました。さらに「北朝鮮を改革、開放しなければならぬ」とまで言っています。しかし、このようなことを言っていないはずはありません。

今までは父親が健在だったから許された。これは権力者の息子としての特権です。血のつな

今回の国葬、金総書記の葬儀に、金正男は出席しなかったのではないか。出席したら一巻の終わりですから。私が金正恩だったら、二度と国外には出さないですね。それは正男本人がよくわかっていたと思います。ですから、私は、国葬には出ていないと見ています。

本（『父・金正日と私—金正男独占告白』、文藝春秋）が最近、日本で出ました。本人は出版に猛烈に反対したというのですけれども、こういう本が出てしまったら、正男が「私はそんなことを言っていない」といくら弁明しても、北朝鮮は聞く耳を持たないでしょう。

金正男のこれからの運命は、マカオか北京あたりをうろろろしていれば必ず北朝鮮に引つ張られる。引つ張られるということは、日本的に

言うと拉致です。そして北朝鮮で軟禁状態に置かれます。亡き者にするとは考えられない。それは誰もできないと思います。何だかんだ言っても、金日成、金正日の血を継いでいる。その血統を殺めることはおそれ多くてとてもできない。

金正男がそういうことを知っていれば、第三国に亡命するのではないでしょうか。本人がいちばん行きたがっている国は日本だと思いますけれども、日本はかなわない。韓国は逆に引っぱり込もうとしていますけれども、韓国は北朝鮮と敵対関係にありますから、それも難しい。では、アメリカか。アメリカも、正男からすると一度行ってみたい国ですけども、北朝鮮とアメリカは今、敵対関係にあるので、これも難

しい。

そうすると彼が幼い頃、17歳まで留学したイス、それとも、フランス語がべらべらなだけに、自分のいとこが亡命しているフランス、このあたりに亡命する可能性はあるのではないか。フランスは北朝鮮と国交がないから、北朝鮮の手はそこまで伸びないだろうということですが、とにかく金正男の動向は要注意です。

このように、長男は最初から後継者になる気はないと。ですから、長男対三男という跡目騒動は、実際なかった。長男が駄目ならば、当然、本命は次男の金正哲キムジョンテだろうと世間では、特に韓国で言われていたけれども、不思議なことには、後継は次男ではなかった。今度の葬儀にも出ていません。

おかしな話ですね。1987年生まれの妹は、兄の正恩の後ろに立っていたけれども、上の兄の正哲はその場にいなかった。存在が確認されたいちばん新しいところでは、2011年2月、イギリスのロックギタリストのエリック・クラプトンのコンサートを前に、シンガポールに彼女を連れて現れています。

その映像を見る限り、どこもおかしくない。なぜ彼が後継者選ばれなかったのか、不思議です。性格が後継者に向いていないとか、気弱だとか、いろいろなことが言われていますけれども、私からすると腑に落ちないのです。

異母兄の正男と違って、正哲と正恩は大阪生まれの在日朝鮮人の母親との間に出来た兄弟で、同じ屋根の下に育ち、仲がいい。正男に対する

のと次男の正哲に対するのでは、金正恩の対応は当然異なると思いますが、といって、正哲が北朝鮮の重要なポストについたという情報もない。金総書記の葬儀委員の中にも名前がランクされていない。いったい全体この次男はどうなるのか。

たぶん北朝鮮にいられないでしょう。いけばいたで、担ぐ連中が出てくる。そういう担ぐ連中をその気にさせないためには、どこか海外に出すほかない。それをやったのが先代の金日成でした。

結局、後継者を長男の金正日に決めたのです。が、そこで10歳離れた異母弟の金平日キムヒョンイルをどうするか。まして平日は軍出身で、金正日は軍出身ではない。軍の中で変な気を起こす人間が出

てこないとも限らないので、当時34歳の若さにもかわからず、外国に大使として、まずハンガリーの大使に出した。それが1988年。かわいそうなことに、それ以来ずっとこの人は国内に戻されていないのです。

金正日に生まれたのですね。88年から今まで20年以上にわたって、ハンガリー大使からフィンランド大使、ポーランド大使と、大使をたらい回しにされて、今もって党の要職にはつけない。戻ってくれば、担ぐ連中が出てくる、これがいちばんの心配の種なのです。結局、兄弟げんか、兄弟を担ぐ、こういう勢力間の確執が、あるいは内部抗争が、体制の瓦解につながっていくという判断なのではないか。

さて、その金正恩体制はどうなるかですが、任した。そして去年、最高司令官に任命です。これは超法規的ですね。

今、北朝鮮では金正恩のことを「軍、党、国家の最高指導者」と呼んでいます。超法規的と申し上げたのは、北朝鮮も一応、朝鮮民主主義人民共和国として民主主義のルールがあるので。一応手続きを踏む、そういう国です。現に党代表者会も開き、最高人民会議も開催しています。

党の最高指導者は党総書記ですが、金正日が亡くなって今は空席です。金正恩は党中央軍事委員会副委員長の肩書きだけです。ですから、党総書記でもないのに「党の最高指導者」というのはおかしい、私からすると。

真一 次「国家の最高指導者」についてです。今

その前に金正恩の経歴です。金正恩は今年29歳で30歳にも満たない。日本の政治家で比べると、小泉進次郎衆議院議員よりも二つ年下です。

超法規的な最高指導者

在日朝鮮人が母親で、17歳までスイスに留学していました。そして、帰ってきて、日本で言えば防衛大学校、北朝鮮の金日成軍事総合大学に入りました。3年間ここで学び、出てきたときには軍の階級で言う上尉。大尉の下の階級です。これが2007年です。

ところが、09年1月8日に後継者に決まって、そして10年9月、北朝鮮が金正恩に大将を授与したと発表しました。何段階、駆け上がったか知りませんが、上尉から一挙に大将に就

国家権力の最高権力機関は国防委員会、国防委員会の委員長は金正日でした。ところが、亡くなって今は空席です。金正恩は国防委員会のメンバーでもない。したがって、国家の最高指導者と言うのもおかしい。

正恩は最高司令官ですから、「軍の最高指導者」という敬称はよろしいと思います。よろしいと思いますけれども、大将になったばかりです。大将の上は次帥、次帥の上は元帥です。北朝鮮には今、元帥が1人、次帥が8人もいます。その人たちを飛び越えて大将が最高司令官というのはいかがなものか。

これに対しては一つの見方があります。リアのカダフィだって大佐だった。(笑) 大佐で最高指導者だから、それでいいではないかとい

うことです。それはそれで一理あるかもしれませんが、党と国家の最高指導者というのは、私からすると完全に超法規的では。

金正恩は体が大きい、あれは太らせたのではないか。しかも先代の金日成によく似ている、あれは整形手術したのではないかと、マスコミにも書かれていますけれども、私からしますと、確かに服装からヘアスタイルから、ああいうようなしぐさはなんとなくまねているように見えます。

しかし、あの体、あの顔形は、ずばり言っただけでDNAだと思えます。金日成も、金正日も、さらには長男の金正男も、次男の金正哲も、みんな太っています。これがやっているとあれば問題で、太っていて当たり前なのです。(笑)

似せていると言うなら、では、小泉親子はどうか、あるいは暴れん坊の浜田親子はどうなのか、ともなりませんか。私から見れば、この二組の親子もしゃべり方から何かそっくりだと思えます。整形うんぬんの話はあまり生産的ではない。

焦点の金正恩体制に話を進めます。北朝鮮の幹部は全部合わせて総数229名です。これは労働党中央委員の数です。共産党の方ならすぐわかると思います。共産党は中央委員が幹部ですからね。その中でも政治局員、政治局員候補が30名。3名が亡くなったり失脚しているので、今現在は27名です。この27人をもって最高幹部というのです。

恩は今年29歳で、このほかに20代、30代、40代はゼロです。50代が1人、今の平壤市長。60代が叔母夫妻を含めて6人、残る20人、すなわち27人のうち20人は70代と80代で、70代10人、80代が10人です。

この最高幹部27人の年齢を調べました。金正恩はたしてまとめていけるだろうか。そういう疑問は誰もが持つと思います。そこで、この中で誰がいちばん力を持つかと探してみると、これはずばり金正日の実妹、金敬姫ギョンヒです。以前もこういう話をしたと思います。金敬姫こそが、金正日に息子がいなかったら、後を継いだかもわからないのです。

いかに北朝鮮という国は高齢者を大事にする国であるか。(笑)しかしこれは長老を大事にするという話ではなくて、引退という制度がないのですよ。「革命家に引退はない」という金日成の言葉があります。死ぬまでそのポストです。ですから、今、北朝鮮の最高人民会議常任委員長は84歳だし、最高齢が88歳です。それが北朝鮮の最高幹部の中にランクされているのです。

私は、この金敬姫という妹こそがナンバーワンの後見人ではないかと見ています。その夫の張成沢、彼がナンバーワンの後見人だと見てい

る人もいますけれども、私は違うと思います。それは、この二人のポストを見ればわかります。金敬姫のほうは政治局員、夫のほうは政治局員候補、妻のほうは軍人出身でないにもかかわらず大将、夫は国防委員会副委員長であるにもかかわらず大将という称号は与えられてなかったのです。

葬儀以降の最近の序列によりますと、とうとう金敬姫は序列5位が上がっていました。序列5位というのは、1位が金正恩、2位が最高人民会議常任委員長の金永南、3位が北朝鮮の総理の崔永林、4位が朝鮮人民軍総参謀長の李英鎬、あの葬儀以降、その次に金敬姫の名前がドーンと出ています。これ一つとっても、彼女がものすごい力を持って、これからいろいろな形

で口を挟んでいくのではないか。これが吉と出るか凶と出るかが問題です。

話がずれませんが、韓国の次の大統領は、今、与党セヌリ党の朴槿恵が本命視されていますね。朴正熙元大統領の愛娘です。彼女が今、大統領最有力候補です。この人が来年、大統領になるかどうか注目されていますが、私はざざり、なれないだろうと思います。

朝鮮半島のことわざに、日本にもこの言葉があると思うんですが、「雌鳥鳴くと国滅ぶ」というのがあります。(笑)北朝鮮の金敬姫も、自分が後見人として、甥の金正恩を使って自分の発言権を行使する、また口を挟んでくる、あるいは自分の考えや政策、主張を押し通そうとすれば、中国の毛沢東夫人の江青の二の舞にな

る、党内の権力抗争が起きるのではないかと私は見ています。

今の段階では、誰が力を持っているのかよくわかりません。金正恩のドキュメント記録映画を見ましたけれども、29歳でもうすでに独裁者らしき振る舞いをやっているのにちょっと驚きました。

党・軍幹部の前で、金正恩は両手をポケットに入れて、腹を突き出して、時には何かを言っている。軍あるいは党の長老たちが金正恩の言っていることを一生懸命メモしている。ジュエスチャーたつぷりにいろいろ指示する。片方の手をポケットに突っ込んだまま握手する。このやり方は、昔、父親がやったやり方そのままです。これを国民に見せて、ここまで党も軍も自分が

実権を握っている、掌握していると見せつけているのですね。

まだ肉声は流れないので、何をしゃべっているのかはわかりません。見た感じは、独裁者の道、父親と同じような道を歩み始めたなと思いますけれども、しかし、それは外見上の話であって、実態はどうかわかりません。確かに権力は継承できて、あの父親の恐ろしい威厳まではたして彼が継承してすでに持っているのかどうかについてはクエスチョンマークです。

今年びつくりしたことがあります。韓国に対する国防委員会の声明で「李明博(大統領)を今後一切相手にしない」という強硬な声明を出しました。国防委員会は委員長空席のまま、副委員長は4人います。金正日の妹の夫の張成沢

と、残る3人は軍人です。これが国防委員会副委員長長の総勢です。この副委員長レベルの話で声明が決まったのです。

4人のうち3人の軍の長老たちが結局、ここは韓国に対してこういう声明を出せ、というような指示を下したのではないか。ずばり申しますと、今、軍が完全に金正恩を囲むという形、正恩をみこしにして軍が発言権を高めているのではないかと、これが私の見方です。

名実とも軍事国家をめざすか

皆さん方の中には金正日が大嫌いと思われた方がたくさんいらっしゃったかと思いますが、それでも私が金正日を一ツ評価したのは、彼は軍人出身ではない、彼はシビリアン、民間人で

あるという点です。

彼は本来であれば文化大臣、あるいは映画監督、こちらのほうになりたかったぐらい、芸術文化の分野にたけていたのです。しかし、最終的に自分が後継者に決まったということで、その後いろいろなところに首を突っ込み始めましたけれども、ともかく彼は軍歴がない。軍人出身ではないのです。

ところが、この金正恩は、金日成総合軍事大学を出て3年間、軍隊生活をした立派な軍人です。北朝鮮軍部からすれば願ったりかなったりすなわち軍人出身が北朝鮮のトップに出た。ですから、私は、名実ともに北朝鮮は軍事国家、軍人の国家、軍人が闊歩する時代が到来したと見ているわけです。

キーパーソンは7名です。というと、霊樞車を伴走していた8人を考えられるかもしれませんが、私の挙げる7人は、まず金敬姫・張成沢夫婦です。金敬姫の夫の張成沢も当然、後見人の一人です。妹が裏の後見人であれば、この夫は正面に出た後見人だと思います。私は、彼に権力を握ってもらいたいと思いますが、でも、それは難しいでしょう。

それに総参謀長の李英鎬、人民武力部長の金永春、軍総政治局第一副局長の金正角、この3名。さらにゲシュタポのような組織の、北朝鮮で言うところの国家安全保衛部第一副部長の禹東則。それから呉克烈というイケイケの武闘派の国防副委員長。彼らがキーパーソンになる。この中で、後見人抗争、つまり権力抗争のよう

なものが起きるかもしれません。

総参謀長の李英鎬は、今、党政治局常務委員です。この人はまだなって3年しかたっていない。政治局常務委員は5人ですけれども、2人亡くなって今は3人です。しかも3人のうち軍出身では彼だけです。

本来は政治局常務委員には、人民武力部長の金永春が入らなくてはいけない。金永春は年上だし、先輩ですよ。先に金永春のほうが大将になり、先に次帥になったのです。ところが、これを抜いて、この李英鎬総参謀長が今、軍ナンバーワンになってしまった。

人民武力部長の金永春からすれば、軍総参謀長よりも格下に甘んじているというのは心中穏やかではないと思います。自分が今まで命令し

ていた相手が、自分よりも上司になったという関係なのです。

もう一人、金正角キムジョンガクという人物です。これは軍総政治局で、すなわち軍は労働党の軍です。ですから、軍の中に労働党組織があります。労働党組織の最高責任者が金正角です。会社に例えますと、軍総政治局はキャリア、軍総参謀部はノンキャリアです。キャリアとノンキャリアの戦いがある。過去に何度もありました。ここで権力抗争が起きて失脚したり、こういうことが起きています。

それだけ、金正角・軍総政治局第一副局長というのも不気味な存在です。北朝鮮における国家安全保衛部というのは、スパイあるいは不穏分子、クーデター、そのような軍の中の不穏な

動きをキャッチする役割を持っています。彼は軍人出身ではない。金日成大学で哲学を学んだ人間が軍情報機関のトップです。

私はよく戦争映画、特にドイツの映画を見まされども、前線の司令官がゲシュタポに連行されるといふ、あの場面です。ああいうことが北朝鮮で起きるかもしれません。この国家安全保衛部、朝鮮人民軍、人民武力部、軍総政治局のトップ4人のうち誰が実質的にちばん力を持つているかは今の段階ではわからない。

もう一人、呉克烈オククリョルという注目すべき人物がいます。呉克烈はすごい男で、36歳の若さで空軍司令官になりました。そして、48歳で総参謀長にもなった。ところが、総参謀長になった1988年に、人民武力部長だった呉振宇オジンウ（のち元

帥、故人）とけんかをしたのです。

人民武力部長は、日本で言うところの防衛大臣です。日本の防衛大臣は今田中さんですけど、地位も権力もまるで違います。軍人出身が大臣をやっていますからね。金日成のバルチザン同志の呉振宇が人民武力部長で、呉克烈は軍総参謀長でしたが、ある一件で確執が生じたんです。そのとき、呉振宇のバックには金日成、呉克烈のバックには金正日がいた。これが面白いところです。

北朝鮮は頭を二つ立ててはだめです。どっちの命令、指示に従ったらいいか。金日成は沈む太陽で、金正日は昇る太陽ですから、基本的にみんな昇る太陽のほうにつきます。それで結局、呉振宇人民武力部長がないがしろにされました。

ところが、金日成の力はまだ強くて、その鶴の一声で、呉克烈は失脚したのです。これが、人民武力部長と総参謀長との確執です。

その呉克烈オククリョルが息を吹き返して、今回、前面に出てきた。彼は党政治局員でも政治局委員候補でもない。国防委員会副委員長の肩書を持っているだけです。ちょっと前までは党作戦部長です。彼も80歳を超えた長老ですけども、この呉克烈と、呉克烈が1988年に呉振宇とぶつかったときに呉克烈を支持した人間がいます。

今の人民武力部長の金永春キムヨンチュン、その人です。金永春はそのとき連座して、地方に飛ばされた。その金永春と呉克烈が一気に急上昇してきた。

もう一人、国防委員会副委員長に李勇武リヨムムがいます。この人は今87歳です。呉克烈の無二の友

人です。彼もかつて呉振宇と権力抗争をして失脚し、3年間、地方の工場に飛ばされたのです。すなわち、昔、失脚した呉克烈、金永春、李勇武の3人が、国防委員会副委員長です。金正日委員長長亡き後、この3人が、韓国に対して強硬な声明を出したという、その一つのいわれはこういうことにあるのです。

2009年の顔ぶれが君臨

金正日死去後にすでに失脚した人がいます。

一人は日本で言うところの警察庁長官、国内の治安を取り締まる人民保安省の最高責任者だった朱相成^{チュ・サンソン}政治局員です。なぜこの人の首が飛んだのかわからない。もう一人、経済担当の洪錫亨^{ホン・ソクソン}政治局員の首も飛びました。北朝鮮は、経済

担当というのは鬼門です。誰がやってもうまくいきませんから。報道によりますと、かわいそうに前任者の朴南基^{パクナムギ}は2010年に処刑されました。朱と洪の二人の政治局員は金正日国葬委員の名簿から消えていました。

北朝鮮の前の人民武力部長に金鑑喆^{キム・イェルガヨル}という人がいました。ちよつと前の総参謀長は金格植^{キム・キョクソン}でした。このお二方は、2009年2月まで人民武力部長と総参謀長だったのです。ところが、忽然と姿を消しました。それも、人民武力部長の金鑑喆については、北朝鮮はこういう発表をしたのです。「80歳の高齢で解任した」と。わざわざこういう発表をしたのは初めてです。80歳定年というなら、もっと年上がごろごろいます。ところが、この人たちは今もおかつ健在

です。よりによって金鑑喆^{キム・イェルガヨル}だけが80歳の高齢で解任というのです。2009年2月にいったい全体何があったのだろうか。

一つは、半年前の08年8月に金正日が倒れました。最高司令官が倒れたら当然、権力の空白が生じますね。それでこの二人が何か勝手なことをしたということが飛んだのか。あるいは09年2月に北朝鮮が人工衛星、すなわちテポドンを発射すると発表がありました。実際に発射したのは4月5日ですけれども、大騒ぎになりました。二人がミサイル発射を独断でやったのか、あるいは猛烈に反対したのか、どちらかだということです。

真一
私は、そのことについてはずっとクエスチョンマークでした。ところが、最近になって私な

りの結論に達したのです。これは反対したから首が飛んだのではないかと。その理由は、1月に金正恩が白馬か何か、白か黒かわからない馬に乗っていた動画が公開されました。あの映像は、今年1月8日、金正恩誕生日に際して放送されたのです。あそこにヒントが隠されています。

09年4月5日のテポドン発射、あれは日本海に面した舞水端里^{ムスグンニ}という基地からですけれども、それを管制する総合指揮所は平壤^{ピョンヤン}の地下にあるのです。父親の金正日と、それからミサイル、核の責任者たちと一緒に金正恩もその場にいたということが、今回、映像で確認されました。

さらに、このナレーションがとんでもないものでした。もしあのとき日米がパトリオットも

しくはイージス艦に配備されたミサイルで迎撃した場合は、北朝鮮は即刻、軍事的報復をする、すなわちそのイージス艦を攻撃する、究極的には局地戦、全面戦争、そういう覚悟をしてボタンを押すところだった。そのボタンを押す覚悟をしたのは実は金正恩だと、戦争の覚悟をしてミサイルを打ち上げると金正恩が指示したというのです。これでわかりました。

当時、北朝鮮が2月5日にテポドンミサイルを発射すると、いや向こうはテポドンとは言いませんでしたね、人工衛星を打ち上げると正式に言ったときに、アメリカ国防総省のゲーツ長官が、撃てば迎撃すると。日本も、大変なことになったというので、地上にパトリオット、そして海にイージス艦を配備して、万全な備え

をしました。

そのときに北朝鮮でそうした指示が出たということは、北朝鮮の中で最高司令部会議が開かれたと思います。アメリカのゲーツが迎撃すると言っている、どうするかと。発射を強行するかどうかということでしょうね、これは。

そのとき、戦争遂行能力や軍人の士気などを承知する立場にあったのが人民武力部長であり、総参謀長だったとすると、この二人が現場の声として、時期尚早だとか、備蓄が足りないとか、いろいろな理由があって、今ここでアメリカと一戦をやれば敗北は目に見えているとか、進言をする。しかし、金正恩やその周りから「このへっぴり腰が」と、「こんな連中では戦はできない」ということで、人民武力部長と総参謀長

の首が飛んだのではないか。

後任として、呉克烈が国防委員会副委員長に、金永春が人民武力部長に就任します。そしてこの二人が就任した直後に、「もしわれわれのミサイルを迎撃すれば、われわれは即刻、強力な軍事的報復措置をとる」という声明が出た。そう考えると、今、日米ともに非常にまずいと思っているわけなのです。

とにかく衝突は回避されました。私は、アメリカが偵察衛星を飛ばして北朝鮮の不穏な動きをキャッチしたと思います。ですから3月になって、アメリカはトーンダウンしました。クリントン国務長官が、それまでテポドンと呼んでいたのを一転してロケットと呼び方を変えました。さらに3月25日には「米国は北朝鮮のロケ

ットを撃ち落とす計画はない」と宣言したのです。

日本も態度を変えます。日本は一貫してミサイルと呼んでいましたけれども、ただし、日本が迎撃する場合は、「北朝鮮のミサイルが万が一エンジンが故障したなりなんらかの形で日本の領海や日本列島に落下する場合には限って撃ち落とす」と、それは当然の話ですね。そういうふうにはトーンダウンしたことで、大事には至らなかったのです。

ですから、私からしますと、今回、金正恩が最高指導者になったということは、良しとしないうけです。正直なところ、嫌な人間が後継者になったなと見えています。そして、09年の顔ぶれが、金正恩の後見人としてそのまま君臨して

いるということを申し上げたい。

2月と4月に父と祖父の生誕祝い

2月16日は金正日の誕生日です。これは盛大にやる。そのためには喪が明けなくてはいいない。北朝鮮には、49日と100日と3年の喪があります。金正日の父親の場合は3年の喪です。ですから、3年後に彼は労働党総書記になりました。ところが、金正恩の場合は、何を慌てているのか知りませんが、あつという間に最高司令官になってしまった。

ですから非常におかしなことになりました。最高司令官になったので、各国から祝電が届いています。その一方で喪主ですから、各国から弔電も来ています。今日は弔電、明日は祝電で

す。日本の慣例からしますと、身内が亡くなったときにはひっそりと、おめでたい席、賀詞、賀状は一切遠慮してもらうけれども、金正恩の場合は弔電と祝電が同時に舞い込んでくる。それもこれも急いだというでしょう。

最高司令官就任を急がざるをえない、最高司令官になって、早く指揮系統、命令系列を一本化しなくてはならない、という形で最高司令官に就任したと見えています。2月16日の父親の誕生日を祝うためには喪が明けなくてはいいない。それで、おそらく内々には今回は49日で喪は終わりではないかと。49日というと2月の初めには終わります。そうすると、2月16日の誕生日は祝うことができる。

年に当たります。父親の古希と祖父の100周年。100年に一度あるかないかの2月、4月の盛大なパーティーをこの期間に万難を排してやらなくてはいいけないのですけれども、簡単にはやれない状況も出てきました。

それは、韓国がアメリカと一緒に2月27日から3月9日まで、米韓合同軍事演習「キー・リゾルブ」、それから、3月1日から4月30日まで米韓合同野外訓練「フォールイーグル」をやるのです。これは、朝鮮半島の有事に備えた訓練です。2月27日から3月9日までの場合は誕生日が終わった後ですけれども、後半のほうは、祖父の100周年にかかっています。誕生日にぶつかるのですね。

今、北朝鮮の軍人はすべて、北朝鮮の労働現

場、たとえば水力発電所とかに駆り出されている。すなわち今年が強盛大国の一つである経済大国を目指す、経済大国への転換の年にする、そのために水力発電所などの建設現場に軍人を総動員しています。

今、平壤の10万世帯アパート建設のために、最後の突貫工事に軍人を駆り出していますけれども、もし米韓合同軍事演習に入ると即刻全員、原隊復帰です。そして、戦闘動員態勢に入る。このようなことがこれから始まるのです。米韓合同軍事演習は、米軍が1万数千人で韓国軍が20万人、大規模な訓練がこれから始まっています。

アメリカは、なぜこんなときにやるのか。アメリカの言い分は、一つは、これは恒例の演習

である、去年もやったと。二つ目は、あくまでもこれは北朝鮮の脅威に備えた防衛が目的である。三つ目、今回の演習は38度線から離れた南方でやる。最後に北朝鮮も去年11月末にミサイル発射実験をやっていることを理由にあげている。さらには、北朝鮮にとってはなんら脅威を与えるものではないと事前に通告もしているのだ、北朝鮮を挑発するものではないというふうに言っています。

アメリカは、今、イランで手いっぱいですから、ここで北朝鮮がへたに挑発されては困るという形で、その備えて訓練をやるということですけれども、北朝鮮はこういう言い分が通用するような相手ではない。

北朝鮮はこういうことを言っています。「延^{ヨシ}は、その反撃した場所、すなわち後方基地もF15戦闘機を投入して、二度と足腰が立たないように潰滅させてしまおうという訓練をやったばかりです。

去年11月と今年1月の訓練は、アメリカが参加しました。アメリカがなぜ参加したかという、まかり間違っても北に向かって撃つなどということですから、この二つの訓練はいずれも北を背にして発射訓練を行っている。当時、北朝鮮は、去年11月の、問題の地域での訓練についてこういうことを言っていました。

真一 辺

「再び神聖な領海、領空、領土に砲弾が一発でも落ちれば、延坪島の火の海が青瓦台^{チョンソク}（せいがい、韓国大統領官邸）の火の海に、青瓦台の火の海が逆賊一味の本拠地を根こそぎ消して

延坪島砲撃事件以来、米韓は毎年、執拗に軍事訓練をやっている」と。去年11月、そして今年1月、問題の延坪島、すなわち海の軍事境界線の近くで射撃訓練をやっていると。防衛が目的だと言うけれども、あくまでもわれわれを仮想敵国とした訓練だろうと。まして訓練の中に今回は上陸作戦もある。防衛訓練に上陸作戦というのはとても考えられないような代物だと反発しています。

北朝鮮の言っていることも決して間違っていない。もし北朝鮮が、韓国が今、実効支配している——本当は実効支配ではなくて韓国の領土ですが、韓国が領土としている黄海の38度線近くの島を攻撃した場合は、韓国軍は攻撃基地を破壊する。それに対して北朝鮮が反撃した場合

しまふ火の海に、燃え上がることを肝に銘じておかなければならない」。北朝鮮がこういう脅しをかけたのです。

韓国の軍人の立場からすると、二度やられたわけです。一昨年、軍艦を沈没され、島を攻撃されて、これは韓国空軍、韓国海軍の沽券^{コト}にかかわる問題で、どこかで一度は仕返しをしたいという気持ちはやまやまだと思います。

それをアメリカは、実射訓練をやるのはいいけれども、あくまで南に向けて、後方に向けてぶつ放せと。そのために米軍が参加していると私は見ていますけれども、北朝鮮の目にはそう映らない。アメリカも韓国と一緒にわかれわれを挑発し、攻め込んでくると、こういうふうにとらえている。

今度は金正恩が最高司令官です。金正恩からすると、試されていると言っても過言ではないですね。間違いなく戦闘動員体制に入ると思いますが。ものすごい訓練をやりますからね。ここで金正恩が何もできないということになると、この勝負はあつたという形になります。

アメリカは、北朝鮮に対して「(米韓合同軍事演習を)理解し、自制しなさい」と、こういうことを言っていますけれども、北朝鮮が自制すればしめたものなのです。北朝鮮は今、食糧事情がよくない。誕生日の2月16日、4月15日には普段よりも配給を多めにしなくてはいい。

ところが、いざ戦闘動員態勢に入るとなると備蓄に手を出せない。食べ物から油も含めてで

す。全員、労働力から今度は部隊に原隊復帰させなくてはならない。そういう状況で軍事演習に入った場合は、なんらかの指示、命令を出さざるをえない。正恩にとっては最初の試練が訪れることになります。

水爆実験の可能性もある

私は、北朝鮮が島を攻撃したり、軍艦を攻撃することはないと思います。まさにイージス艦が配備されて、米韓合同軍事演習真つただ中にそのようなちよっかいをかければ、韓国軍からすれば飛んで火に入る夏の虫ですから、そんなばかなことはやりませんけれども、しかし、何もやらないでいられるかどうか。やるとすればでは、何をやるか。

そうすると、2009年のあの一件が思い出されます。09年2月、北朝鮮が人工衛星を打ち上げると言ったのも、まさに米韓合同軍事演習の時期でした。それで、北朝鮮が対抗措置として人工衛星、ミサイルを打ち上げるとやっただけです。今、同じような状況ではないかと私は見えています。そして同じようなことが再現されるようだと、困ったことになります。

2月1日にアメリカの上院情報特別委員会で民主党の委員長が「核問題で驚くべき情報もたらされた」と言っていました。この驚くべき情報という意味がよくわからないのです。おそらくアメリカの国家情報局長官からの提供だと思えます。

真一 辺

今、韓国ではいろいろ謎解きをしています。

ある人は、北朝鮮の核管理がずさんだと、これがアメリカにとつて驚くべき情報なのか、あるいは北朝鮮が実は核を密かに技術を含めて輸出、拡散していると、これに驚いたのか、それとも北朝鮮の核のレベルがアメリカの想像を上回ったということに驚いたのか、中身については国家機密なので、一言も触れなかった。気になるところです。北朝鮮の隠し球ですね。

現状で考えられるのは二つです。一つは、またミサイルを発射です。北朝鮮の対抗措置はこれしかなくて、今度やるなら間違いなく大陸間弾道ミサイルです。これは北朝鮮がはっきりと言っています。

前は人工衛星を打ち上げると言いました。人工衛星は撃ち落としてはいけないのです。すな

わち平和利用ですから、どの国も人工衛星は打ち上げられる。ところが、アメリカも日本も、あれは人工衛星ではなくてミサイルだということまで迎撃しようとした。

でも、一昨年、北朝鮮ははつきりと今度はICBM、大陸間弾道ミサイルをわれわれは発射すると言っています。もう二度と北朝鮮は人工衛星という言葉は言わないと思います。堂々と大陸間弾道ミサイルを発射する。

発射すれば、これは明らかに国連の制裁決議に違反します。今の国連制裁は経済制裁ですが、経済制裁に限界があるということは、あとはもう軍事制裁しかない。しかし、直ちに軍事制裁ではなくて、たとえばその前に海上封鎖だとか海上封鎖の前に臨検だとか、こういうことをや

っていく。ですから、北朝鮮がICBMを発射することになると、非常に困ったことになりました。

もう一つが核実験です。核実験というと、問題の濃縮ウラン——今はプルトニウムではなくて濃縮ウランを使っています。ですから、濃縮ウラン爆弾の実験の可能性が考えられます。

先ほどの「驚くべき情報」というのは、もしかすると水爆ではないかと私は見えています。多くの方がまさかと思うのですけれども、調べてみたら、原爆をやった国は必ず水爆実験をやっています。北朝鮮が一昨年、「われわれは核融合反応を成功させた」と発表しました。当時の労働新聞は「莫大な投資と先端科学技術の土台が要求されるこの技術の開発は、現在、先進数

カ国だけで行われている」と誇らしげに書いています。

核融合はいわば水素爆弾をつくる基礎であるというのが私のとらえ方です。アメリカ、1945年に原爆実験、7年後の52年に水爆実験。ソ連、49年に原爆実験、6年後の55年に水爆実験。イギリス、52年に原爆実験、5年後の57年に水爆実験。フランス、60年に原爆実験、6年後の66年に水爆実験。アメリカもソ連もイギリスもフランスも、5年から7年後に水爆実験をやっています。中国は64年に原爆実験をして、3年後の67年に水爆実験をやっています。

これに対して、北朝鮮は2006年に原爆実験をやり、09年に2度目の原爆実験です。北朝鮮が水爆実験をできないはずはないけれども、

これはやってみたらは本当に大変なことになります。

北朝鮮は、もうすでに2010年から「各種核兵器を必要だけ増やす」「現代化させる」あるいは「われわれは新たに発展した方法で核抑止力を一層強化する」、あるいは「核抑止力をより多角的に強化する」と、いろいろ意味深長な言葉を使っています。こうしたことから次の核実験は濃縮ウラン、もしかすると水爆実験などということをやりにかねないのです。

そうなると、制裁決議が今度は軍事制裁ということになり、朝鮮半島の緊張が一気に高まっています。今は世界の経済がにっちもさっちもいきません。こういう時は、戦争が必ず起きます。イランもキナ臭くなりましたけれども、朝鮮半

島も安泰ではいられないなと思います。

経済再建のカギを握る叔母夫妻

ただし、私は、このような悲観的なことだけを話すためにこの場にいるわけではないのです。今まさに北朝鮮という国は、ずばり申しますと、これからまっとうな普通の国に向かうか、あるいはイスラエルのような軍事国家を目指すのか、その分かれ道に立たされているのです。なんとしても北朝鮮が、少なくとも常識の通じる普通の国になってもらいたい。そのために、日本にもっと積極的なイニシアティブで働きかけてもらいたいと願望しています。

と申しますのは、金正恩体制からすると、この体制がソフトランディング、あるいは長期安

定化するかどうかは二つの要因、一つは軍の支持、もう一つは経済再建にかかっているのです。経済再建のカギを握っているのは、金敬姫叔母夫妻です。後見人の金敬姫は軽工業の分野を担当しています。軽工業は服、靴から日用品で、彼女は生活必需品を担当しているのです。

夫の張成沢は、なんと北朝鮮の経済特区の責任者です。これは朝鮮半島の地図ですが、通常と違い南北が逆になっています。ロシア、中国との国境線は約1350キロメートルありますけれども、中国の丹東(ダン Dong)対岸の二つの島(中洲、フアンクムロン)、黄金坪(ウイフアード)と威化島を北朝鮮が中国に提供して、第二のマカオ、第二の香港のように開発しようと、これが一点です。

もう一つ、この東岸にある羅先(ラソン)、先鋒(ソンボン)

という港、これは不凍港で凍らない。ここに中国とロシア、そしてモンゴルを誘致して開放しようとする。すなわち韓国がかつて日本に南部の馬山(マサン)と昌原(チャンガン)を開放したように経済特区を設けて、そして経済を再建させようとする。この責任者が金正恩氏の叔父、すなわち張成沢です。

中国は、遼寧省、黒龍江省、吉林省、昔でいう旧満洲、これからはここを開発しないといけない。しかし奥地、東北内陸で海がないのです。大連にしても東北からだいたい離れている。どうしても海がなければ発展できない。ところが東側をみると、日本海がある。しかし、ロシアと北朝鮮の領土にシャットアウトされている。それで、この羅先の港を貸してくれと。

金正日は今まで貸しませんでした。経済的に

中国に従属すると、そのうち政治、軍事的に従属させられる。ですから、ノーだった。でも、08年に倒れて、これからは息子だと。なんとか経済的にも外交的にも、軍事的にもこれから中国に面倒を見てもらいたいということかもしれないけれども、とうとうここを賃貸することにしました。

私は、一昨年11月のこちらでの講演のときには、そのうち中国が北朝鮮に軍を駐屯させることになりかねませんよと申し上げました。日本として北朝鮮を唯一、評価できるのは、中国に基地を貸さない、北朝鮮の港を中国に軍港として使わせないというこの一点だったのですが、日本が経済制裁をするので北朝鮮はにっちもさっちもいかないということで、中国に経済的に

寄りかかっている。

中国は、ならば港湾を貸せと。去年8月に、驚いたことに15年ぶりに中国の軍艦が北朝鮮の港、元山、ここはかつて新潟と姉妹都市でしただけでも、ここにやってきました。これから中朝合同軍事演習、これはあくまで軍事用ではなくて防災用の訓練ですが、これを本年中にやることで合意しています。

中国は、東北三省の開発に2兆4000億円相当を投じて発展させて、とりあえず羅先を買易港として使えば、将来日本、あるいはアメリカやカナダへと、より貿易を拡大できる。東北部の荷物は大連が手いっぱいなので、この羅先港を通じて、そこから上海その他の港にいったん持っていく。ということは、純粋に

経済的な面からすると、北朝鮮はここを第二のシンガポールにする考えのようです。

シンガポールのようにするには、世界第2位の経済大国にのし上がった中国とロシアをバックに、もう一つ、モンゴルがあります。モンゴルは、日本との間で経済協力協定を結びました。モンゴルから日本へは、これからレアメタルなど地下資源を持つてくるのです。

どうやって持つてくるか、実は羅先です。北朝鮮とモンゴルとの間ですでに海運協定を結んでいます。モンゴルもここに一枚かんで、北朝鮮のインフラ整備をやっている。モンゴルの物資はレールからレールで羅先まで持つてきて、ここから日本へ運ぶというのです。

日本は中国の東シナ海、南シナ海での覇権を

警戒していますけれども、日本海にも出てくると思います。中国が経済的に出てくるのはいいとしても、軍事的に出てきてもらっては困ることになります。

政治決断が必要な日朝関係

前回も申しましたけれども、日本と北朝鮮は資源紛争がないのです。もちろん領土紛争もあります。日本は、ロシアとは北方領土の問題、中国とは尖閣諸島の問題、韓国とは竹島の問題でぶつかっていますが、北朝鮮との間には何の問題もない。海もクロスしていない。

ですから、昔は北朝鮮の領海に、日本の漁港から漁船が出て行って、場所代を払って魚をとる。あるいは、100トンとったら60トン先方

に納めて、日本へ40トン持つてくる、といういい時代だったので。ところが、これも今は拉致問題で全部飛んで、日朝漁業協定はご破算になった。そこに間隙を縫って中国が中朝漁業協定を結び、今ここで最大1000隻の船が乱獲という状態です。

韓国の統計庁の発表によりますと、北朝鮮にはレアメタルやレアアースを含めて498兆円相当の地下資源が埋蔵されています。しかし、北朝鮮の地下資源は開発、生産できません。資金、設備、技術がないからです。日本は、資源がなくともその三点セットはある。だから、北朝鮮は日本と手を組んで、日本の三点セットを仰いでここを立ち上げたい。これが、金丸元副総理や小泉首相と会談を望んだ北朝鮮、金親子の最

大の狙いだったのです。

それが拉致問題でつまずいてうまくいかない。今のままでいくと中国にしてやられる。金正日は2009年にはつきりと現代財閥の女性オーナーにこう言ったのです。中国は信用が置けないと。アメリカ人学者が北朝鮮を訪問したときも、「中国は決定的な段階で裏切る」と言いました。

すなわち北朝鮮にとって中国は、一言で言いますと信用ならない相手だということです。でも、今のままでいくと全部食われていく、おそらくそのうち中国の31省目の省の扱いになるのではないかと。これが日本にとってはたして望ましい姿かということですね。私の持論は、日本は北朝鮮を取り込むべきだと。

日清戦争、日露戦争がなぜ起きたかというところ、朝鮮半島、北朝鮮の地政学的な利点といたしましよか。そう考えると、拉致問題は早期に解決しなければならぬと思っておりますが、この拉致も、前回の講演の際に、金正日総書記の生きているとき、すなわち拉致を認めた独裁者がいる間にこれを解決しなければならぬと、できることだったら金正日を日本に招いて、そして首脳会談で決着をつけたらどうかと申し上げましたが、残念ながら亡くなってしまった。

おそらく54歳の野田さんと29歳の金正恩とは、顔合わせもどう考えたって合わない。当分は南北首脳会談もバア、米中首脳会談もバアだと思えます。ですから、首脳会談というトップ外交での解決というのは難しい。

ただ唯一、金正恩は幼いころ、九つのときに日本に来たことがある。お母さんに連れられて、新幹線にも乗って、ドイツニールランドも行きました。10年後に金正男が不法入国して日本にやってきました。その金正男が日本について印象を聞かれて、「日本は非常に清潔で発達した国だ」と言った。10年早く、9歳のときに来た金正恩にも同じように日本が映っただろうと。

彼は17歳までスイスにいました。スイスというの、まさに観光リゾート地で発達した国ですね。彼が、自分の国もいつの日かスイスのようにしたい、あるいは自分がリーダーになつたらなんとか人民を食わせるようにしよう、と

本が拉致問題解決に向けて果敢に外交攻勢をかけるべきではないかと思えます。とにかく決して悪いようにはしないので腹をくくるように説得することと同時に、日本も政治決断しないとイケないですね。

野田さんは拉致被害者全員の帰国をもって、と言うけれども、全員というのは正直、何人かわからないですから。だから、北朝鮮がこれで全員ですと、これが全員ですねと、そういう政治決断ができるかというところ、それもまた簡単ではないですね。これでは世論は許さないと思えます。ですけれども、どこかでけじめをつけなければ、ずっと今の状態が続く。それは日本の国益にとって非常に好ましくないということ、これを申し上げて、時間が参りましたので、これで

失礼いたします。(拍手)

会員 中国と北朝鮮の関係については、今後どういう展開が予想されるのでしょうか。

辺 残念ながらジャスミン革命は北朝鮮では起きないだろうと思います。起きない理由はたくさんありますけれども、一つは、中国が支えるだろうと。中国は、北朝鮮の内政問題に絶対に首を突っ込まない。長男の金正男を担いでどうのこうのということはできないと思います。

要は、北朝鮮が反中でない限り、誰が後継者になっても、中国は支えると思います。

それはなぜかといいますと、地図を見るとわかりますように、1350キロ、国境を接しているんです。国境を接している国と、今まで中国はほとんど戦争をやってきたんです。中ソ紛

争、中印紛争、中越紛争と、唯一、紛争がなかったのが北朝鮮です。これがいちばん大事なことです。国境を接している国とのトラブルというのは国益に大いに反します。

二つ目は、同じ共産党政権で同じ社会主義国ですが、北朝鮮が崩壊すれば、確かに難民が200万人、300万人、どつとあふれてくる。これもちよつと心配ですね。あるいは、もし北朝鮮が崩壊して韓国主導になったら、これまた駐韓米軍が国境地帯まで上がってくる、これも心配だと。こういうことで中国は北朝鮮を支えざるをえないというのが日本の大方の理論です。私もそれに関しては異論はありません。

もつと深刻な問題があります。それは、仮に200万人、300万人、中国にどつと来たと

きに、これは管理所がなくて困るという話ではないんです。吉林省を中心に、昔で言う中国の満州一带に朝鮮族が数百万人います。私も行きましたけれども、今ですら数百万人ですから、難民があふれて、倍近くに膨れ上がるとなると、これは大変な事態になります。

今、中国と北朝鮮の間で歴史論争があります。歴史紛争の一つは白頭山バクトです。この白頭山は、中国は長白山と呼んでいるんです。これがどっちのもので争っています。

もう一つ、三国時代の高句麗があります。高句麗は、中国は中国の一部だと言うんです。韓国からすると高句麗は我々の先祖だと言っているんですけれども、高句麗の帰属権をめぐる中国と韓国との間でやり合っているんです。こ

れは中国と北朝鮮との間でやり合っているんじゃないんですね。

南北統一の暁に、韓国主導になったときには旧満州を返せと、今、韓国の中ではその運動をやっている連中がいます。李大統領もこのことについて触れていて、「われわれは決して歴史を忘れない」と。

そうになったら、これは大変なことになります。今、中国で50ぐらいの少数民族がおりますけれども、いちばん問題なのはウイグルとチベットです。ですが、いちばん怖いのは気性の激しい朝鮮族です。いちばん手ごわいと思いますよ。でも、今はいちばんおとなしい。

なぜおとなしいかというと、北朝鮮と友好関係にありますから。万が一、これが北朝鮮と衝



講師紹介

るようなことになればいいんですけれども、無理でしょうね。(笑) そういうことで、日本海周辺の地政学にわれわれはもっと敏感にあらねばならないという大事なお話を伺いました。今日は熱弁でしたね。どうもありがとうございます。(拍手) (基本的に敬称は略しました)

1947年東京生まれ。明

治学院大学文学部英文科卒

業後、10年間の新聞記者生

活を経てフリージャーナリ

ストへ。1982年朝鮮半

島問題専門誌『コリア・レポ

ート』創刊。海上保安庁政策アドバイザー、沖縄

突したときに、北朝鮮はこの少数民族、朝鮮族に手を突っ込むと思います。そうしますと、中国はソ連邦のように民族運動、分離独立運動に火がついて拡大して、それが中国の体制瓦解につながるっていく、これを中国はいちばん恐れている。

だから、中国と北朝鮮は仲が良かったにもかかわらず、朝鮮総連の議長が中国に行けなかったんです。吉林省を訪問したいと言ったら、ビザを出さなかった。朝鮮総連の民族歌舞団が吉林省に行つて公演をしたといつても、中国当局は出さなかった。理由は、朝鮮族の民族意識、アイデンティティに火をつけてもらつては困るということなんです。

ところが、金正日が亡くなるこの1年の間、

とうとう金正日が吉林省に行つたんです。もう中国は心配いらなないと。なぜかという、今、完全に北朝鮮を、金正日、金正恩を抱きかかえつつあります。だから、昔の金日成の遺跡をどうぞ見学してくださいとなったんです。私からすると、非常に好ましくない流れです。そのような理由から、中国は北朝鮮を、いわば貫一がお宮を蹴っ飛ばしたような、ああいうふうに突き放すことはないだろうと見ています。

浅野 ところで金正恩という人は日本語もしゃべれるそうですが、どのくらいしゃべれるんですか。

辺 7歳のときに家庭教師について勉強したと聞いています。

浅野 であれば、差して野田さんと話し合え

大学客員教授など歴任。

主な著書

『金正恩の北朝鮮と日本』(小学館、2012)

『どうなる! これからの北朝鮮』(編集協力、PHP文庫、2011)

『45分でわかる! 14歳からの北朝鮮のすべて』(マガジンハウス、2009)

『北朝鮮が核を発射する日』(訳、PHP研究所、2004)

『「金正日」の真実』(小学館文庫、2003)

『北朝鮮は本当に変わるか』(同、2002)